

事務事業実績測定調査

事務事業名称													道路施設等維持管理事業(直営)			
測定年度		2021(R3)年度				部		土木部				課		維持補修課		
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4						
総合計画体系		基本目標		1.安全で、利便性の高いまち												
		施策目標		1.災害に対する備えができています												
		実行計画名														
1. 事務事業の概要																
種類		内部管理				特性		内部事務				区分		一般内部管理事務		
事業期間		2012(H24)年度				年度		~						年度まで		
根拠法令等		社会資本整備重点計画法														
関係補助金名称						サンゼット										
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		市道施設を利用する市民及び準用河川沿線に住む住民すべて												
		サブターゲット		市道施設を利用する事業者及び準用河川沿線で事業を行う事業者すべて												
		ターゲットが抱える課題		道路を通行する利用者が円滑かつ安全に通行できないと交流及び物流が滞る。河川が保全されていないと、大雨時に河川氾濫や、流水機能が妨げられることにより被害が発生する。また、避難の妨げになるため、不安が募る												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		<ul style="list-style-type: none"> 道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や物流が円滑に進んでいる。 防災力が向上し、被害の発生、避難経路の確保ができる、安心、安全につながる。 														
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> パトロールや道路利用者からの通報により発生する補修箇所の把握及び補修等の対応 準用河川を主として、維持管理のために除草および清掃作業を行うとともに、補修工事等を行うもの(直営による保全活動) 														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
						道路施設及び準用河川等が適切に維持管理できている。				パトロールや道路利用者等からの要望により、補修箇所を把握し、補修・改良および準用河川等の各種保全活動をする。						
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
		指標説明		単位		単位		%		単位		件				
		指標種類		増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標								
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標(見込み)						100	100	100	100	3,400	3,250	3,250	3,250	
		実績						95.50	99.12			2,949	2,929			
達成度						99%				110%						
分析						市民の安全に影響の大きい要望については応急対応も含めすべて対応を完了している。要望の一部については、翌年度に対応を繰越している。				目標は下回ったものの、道路施設等の老朽化等に伴い、要望件数は推移している。 ※.R3実績は、道路等補修要望工種総件数						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	11.13
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.71
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配直をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	-	-	85,322	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	2,015	
		特別職非常勤	-	-	0	
		附属機関委員	-	-	0	
		人件費計	-	-	87,337	
	物件費計	-	-	45,488	45,298	100%
歳出計		-	-	132,825		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	22,990	22,627	
	市債	-	-	8,400	106,800	
	その他	-	-	0	0	
	歳入計	-	-	31,390	129,427	
一般財源		-	-	14,098	▲ 84,129	

5. 総括的分析

総括的分析 R3年度は、市民・自治会等からの通報、要望や職員によるパトロールに基づく対応を2,929件、約700箇所ある街路樹等の剪定や除草等の維持管理を行った。
 道路等の維持管理、修繕等に要する経費は年々増加傾向にある。また、道路・橋梁施設の保全や除草などの、費用対効果や即応性から委託等がなじまない道路補修や市民の安全に直結する道路の陥没や穴ぼこなどの緊急対応、災害時の対応を直営施行にて行っている。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、市民が安全に安心して利用できるよう、道路施設の維持管理を適切に行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	都市公園等維持管理事業(直営)								
測定年度	2021(R3)年度		部	土木部			課	維持補修課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち							
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務				
事業期間	2004(H16)年度		年度	~	年度まで				
根拠法令等	都市公園法、枚方市都市公園条例								
関係補助金名称							サンセット	-	
関係附属機関名称									
事業対象	メインターゲット	公園利用者すべて							
	サブターゲット								
	ターゲットが抱える課題	公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交友が滞る							
	ターゲットが抱える課題								
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。								
事業概要	公園緑地等725箇所、樹木管理全般及び除草や施設の補修改良工事の実施、施設遊具の点検及び塗装や修繕等の維持管理を行う。								

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル						都市公園が適切に維持管理できている。				都市公園の施設保全や保守点検等を行う。			
指標設定	指標説明					要望に対する対応率 【算出式: 対応完了数/受付伝票×100】				要望件数 【要望件数は、変動があるため、毎年度見直しを行う。】			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100	100	100	100	2,500	2,500	2,500	2,500
	実績					-	99.50			-	2,690		
	達成度					100%				107%			
分析					市民の安全に影響の大きい要望については応急対応も含めすべて対応を完了している。要望の一部については、翌年度に対応を繰越している。				目標は下回り、公園緑地等への要望件数は増加している。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	17.33
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.53
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	130,846		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	4,131		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	134,977		
	物件費計	-	-	14,767	11,862	173%
	歳出計	-	-	149,744		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	0	0	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	0	0	
	歳入計	-	-	0	0	
	一般財源	-	-	14,767	11,862	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>公園や緑地の樹木管理及び除草、施設遊具の塗装や点検及び修繕等を実施している。R3年度は、日常点検や市民・自治会等からの通報、要望2,690件等に基づき除草や遊具の修繕等を行うなど、公園緑地等の維持管理を行った。</p> <p>公園や緑地等の維持管理、修繕等に要する経費は年々増加傾向にある。費用対効果から委託や小規模工事のなじまない軽易な修繕や日常点検などの維持管理や利用者の安全に影響のある施設の損傷等への緊急対応などを行うため、直営作業に要する人員配置を行っている。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、公園を安全・安心に利用できるように、施設の日常点検や効率的に除草・剪定などを委託実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	中部別館維持管理事務														
測定年度	2021(R3)年度				部	土木部				課	維持補修課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4							
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり												
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます												
	実行計画名														
1. 事務事業の概要															
種類	内部管理				特性	内部事務				区分	一般内部管理事務				
事業期間	不明				年度	~				年度まで					
根拠法令等	枚方市庁舎管理規則														
関係補助金名称											サンセット				
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット		土木部中部別館で勤務する職員												
	サブターゲット		市民、事業者												
	ターゲットが抱える課題		庁舎機能が不全であると業務効率が低下するとともに、災害時の機能維持が困難になる。												
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	庁舎を適正に維持管理し、効果的・効率的に活用することで、業務水準の維持が図れるとともに、緊急時、災害時の機能確保が可能となる。														
事業概要	土木部中部別館の庁舎(事務所及び車両・資材置き場)としての機能等を確保するため維持管理業務を行う。施設の維持管理上必要な保守点検については、施設総合管理委託等を導入し、より効率的に実施する。														
2. ロジックモデル及び指標設定															
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)					インプット(活動)				
						中部別館が適切に維持管理できている。					中部別館の維持管理に係る保守点検を計画的に実施する。				
指標設定	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)					インプット(活動)				
	指標説明					施設の不具合等の改善率【改善数/保守点検で判明した不具合等の数】					維持管理に係る保守点検の実施回数				
	単位					単位					単位				
	指標種類					増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	実績						100以内	100	100	100	52	52	52	52	
達成度							80%					106%			
分析							維持管理に関する優先順位を勘案し、可能な限りでの改善に努めた。					冷暖房設備点検について、室内機・室外機の調整の都合、点検回数を増やした。			

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.72
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,839	2,393	5,657		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	431	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	10,270	2,393	5,657		
	物件費計	20,538	52,263	38,941	42,295	92%
	歳出計	30,808	54,656	44,598		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	22,000	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	22,000	0	0	
	一般財源	30,808	30,263	38,941	42,266	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>市有建築物及び庁舎として機能等を維持するため、法定点検や清掃、警備などについて委託を行った。また、R3年度は市有建築物保全計画に基づき、昇降機設備改修工事、防災設備更新工事および給水工事設計委託を実施した。 同施設は法定点検や庁舎機能を維持するための委託に加え、施設の老朽化による修繕や保全計画対象外の工事等を適宜実施してく必要があり、より効率的な予算執行が求められる。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<p>R3年度から清掃業務や警備業務などの各種委託業務を統合し施設総合管理委託に移行している。また、施設の老朽化や建築基準法第12条に基づく建築物の定期点検の是正事項の改善など、今後、修繕費用の増大が見込まれるため、安全面、業務への影響性等を考慮しながら計画的に対応していく。</p>

事務事業実績測定調査

事務事業名称	維持補修課運営業務										
測定年度	2021(R3)年度			部	土木部			課	維持補修課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務					
事業期間	不明			年度	~		年度まで					
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット					
関係附属機関名称												

事業対象	メインターゲット	職員									
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。									
	ターゲットが抱える課題										

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)											
---------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>維持補修課の事務事業が効率的に執行されるよう室内の連絡調整を図る。また、庶務事務や道路補修及び公園に関する市民等の通報受付を適切に行う。</p> <p>①連絡調整事務 予算・決算、各種照会・回答等について、室内の連絡調整及び執行管理</p> <p>②庶務事務 在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告、会計年度任用職員の報酬関係の報告等</p> <p>③受付事務 道路補修及び公園に関する市民等の通報・要望等の受付、伝票作成(災害情報システム)、進捗確認</p>										
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	3.62
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.02
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	28,442		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	4,156		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	32,598		
	物件費計	-	-	10,837	14,981	74%
	歳出計	-	-	43,435		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	0	0	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	0	0	
		歳入計	-	-	0	0
	一般財源	-	-	10,837	14,981	

5. 総括的分析

総括的分析 予算・決算、各種照会・回答など室内の連絡調整及び執行管理、室在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告などの庶務事務全般と特有の事務である道路補修及び公園に関する市民等の通報・要望等の受付(道路関係約2,900件、公園関係約2,700件)を行っており、相当の人員を要する業務となっている。
 受付業務については、災害情報システムを活用して受付内容に応じた伝票を作成しているが、実態として現場対応は紙ベースが主流なため、電子化や効率化のためのさらなるICTの利活用について研究が必要である。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、室内の連絡調整及び執行管理を適切に行っていく。また、受付業務については、通報・要望等の対応が適切に行われるよう運用する。